

ありがとうございました

石川自由民権150周年記念事業

寄付者・広告協賛団体・後援団体リスト

★後援団体★

19団体

★寄付者★

247名

(令和7年11月26日現在)

★広告協賛団体★

28団体



ひろなかさん

ひろみさん

はなさん

つねきちさん

じゅうけんさん

こういちさん

石川自由民権150周年記念事業実行委員会

★後 援 団 体★

石川町

石川町教育委員会

石川町議会

三春町教育委員会

学校法人石川義塾

東京いわき石川会

石川町文化協会

いわき石川青年会議所

石川ロータリークラブ

石川ライオンズクラブ

福島県立石川高等学校同窓会

石陽史学会

福島自由民権大学

平田村史談会

歴史塾ふるどの

福島民報社

福島民友新聞社

町民ニュース社

夕刊いしかわ新聞社

石川自由民権150周年記念事業寄付者

2025.11.21

あ行	あさかはや本店(有)	(有)サカイ	青柳 とく子	青柳歯科医院
	朝日自動車整備工場	味戸 治人	小豆畠為重	有賀 繁
	小豆畠 正信	小豆畠 毅	(有)我妻自動車整備工場 我妻 英昭	穴澤 明子
	荒川 一夫	有賀 正泰	有賀 良友	安在 邦夫
	安藤 広	飯田 節子	五十嵐 幸成	石井 博
	会田 泰子	石川町役場課長会	石田 艶子	石渡 直子
	板橋 敬史	板橋 重徳	井出 治雄	伊藤 次男
	岩谷 好伸	岩谷 寿治	宇陀 明美	遠藤 和郎
	大島 晴夫	大竹 喜代子	大竹 マサ子	大根田 美栄
	大野 峰	大町 純ひ子	岡部 一	小木 清
	小木 典夫	小木 義家	長田 礼子	小川真理子
	石川ロータリークラブ 会長 草野 伝明	石都々古和氣神社 宮司 吉田 英高	石都々古和氣神社 禰宜 吉田 伊織	大竹 芳節

か行	(株)三森総業	角田 茂	角田 祥子	角田 仲弘
	角田 信	角田 学	加藤 智子	金沢 忠一
	加納 武夫	鹿岡 国俊、みや子	柄沢 節子	菊池 忠志
	岸波 文香	草野 伝明	草野 敏子	国井 洋子
	久保木 マサ子	熊井 トシエ	熊田 重信	熊田 誠
	小池 幸子	小池 毅	郷 徹	郷 泰隆
	郷 京子	郷 貞夫	郷 隆雄	古藤 邦英
	合同会社あすかエコテック	小島 清	小玉 陽彦	小林 重雄
	小林 ヒサ	小針 良仁	小松 弘喜	近藤 功
	近藤 丈寿	近内 修	近内 光慶	近内 康
	幸田 雪子	(株)福産建設 吉田一治		

さ行	斎藤 英幸	斎藤酒店	酒井 完二	酒井 文
	坂本 修平	相楽 秀幸	相楽 正弘	佐川 三枝子
	佐竹 留美	佐藤 康博	佐藤 芳伸	佐原 崇彦
	佐藤 市子	(有)サンキュー薬局	塙田 ウメ	塙田 広平
	下山田 和雄	下山田 航	十文字芳男	十文字 啓裕
	十文字 則夫	鈴木 完治	鈴木 瀧子	鈴木 達志
	鈴木 信夫	鈴木 文雄	鈴木 正博	鈴木 ミエ子
	鈴木 芳江	鈴木 よし子	関根 猛	関根 正人
	関根 祐壽	関根 義正	石陽史学会	瀬谷 歩陸
	瀬谷 一裕	瀬谷 瑞季	瀬谷 照雄	瀬谷 嘉男
	添田 悅男	添田 健	添田 光吉	添田 七美子
	添田 秀子	添田 ヒロ子	添田 美恵子	添田 祐司
	添田 健	関根 功	関根 武一	筝友会代表 瀬谷京子

石川自由民権150周年記念事業寄付者

2025.11.21

た行	高橋 由輝 館 初浩 富岡 高春	高原 榮征 丹内 勝明	滝川 徳次 丹内 春夫	田口 和憲 円谷 健市
----	------------------------	----------------	----------------	----------------

な行	中田 �刚 永沼 重和 西川 良英 二瓶 好之 野崎 洋平	仲田 昌勝 中野 明 石川中央医院 西牧 丈夫	永沼 幸子 南條 英一 西牧 典子	永沼 悟 西川 一英 二平 光信 野崎 重紀 野崎 浩美
----	---	-------------------------------	-------------------------	--

は行	芳賀 真一 橋本 倉良 林 憲夫 深谷 敏彦 藤田 フミ子	芳賀 正人 長谷川 信光 平田 文男 深谷 伸夫 ヘアーアトリエ・ポムン	橋本 亀 華蔵寺閑栖(竹貫 知孝) 平山 知宏 福田 徳男 平田村史談会	橋本 悅雄 馬場 哲明 蛭田 重経 藤沢 治子
----	---	--	--	----------------------------------

ま行	曲山 重徳 松原 久美子 水野 文雄、昭子 水野谷 光枝 迎 伸郎	増子 憲雄 三輪 恵美子 水野 正利 緑川 秀一 宗形 兼徳	増子 信雄 水野 智裕 水野 光成 三森 定雄 宗形 久恵	増子 美知夫 水野 英也 水野 三恵 三輪 肇 諸岀 喜一
----	---	--	---	---

や行	矢内 国春 矢内 大貴 矢内 稔 矢内石材工業(矢内正夫) 吉田 章 吉田 正 吉田 真樹	矢内 寿夫 矢内 孝児 矢内 幸子 矢吹 富美子 吉田 桂治 吉田 忠正 吉田 真澄美	矢内 重臣 矢内 忠男 矢内 陽介 山田 英重 吉田 純治 吉田 浩子 吉田 利昭	矢内 清一郎 矢内 秀明 矢内 湧登 横川 美恵子 吉田 数重 吉田 博 吉田 朝彦
----	---	---	---	--

ら行	ライオンズクラブ 会長 関根 考司	歴史塾ふるどの 矢内信幸		
----	----------------------	--------------	--	--

わ行	若松 謙維 渡邊 紀男 株式会社和知鐵工所 代表取締役 和知 勇希	渡辺 郁男 渡辺 正法	渡辺 健 渡辺 実	渡邊 忠栄 渡辺 優子
----	--	----------------	--------------	----------------

(合計人数247人)

石川自由民権150周年事業広告協賛御社名



野本観光バス

NOHON KANKO BUS

TEL:0247-26-8527



有限会社 野本観光バス旅行事業部

キララベル

TEL:0247-26-3900

学校法人 石川義塾



学校法人石川高等学校



石川義塾中学校

理事長・校長 森 涼

電話 0247-26-5151

FAX 0247-26-4133

ねこなき
福島県/猫啼温泉 式部のやかた

井筒屋

福島県石川郡石川町字猫啼 2 2

TEL: 0247-26-1131

FAX: 0247-26-1132

<http://www.itsutsuya.co.jp/>

石川菓子組合

恵びす屋 ☎26-1082

みはるや恵季菓子 ☎26-1313

くわざわ ☎26-2851

ホズミ・ソラ ☎26-2373

お菓子のさかい ☎26-2917

菓子処よしだや ☎26-7288

福島県石川郡石川町字下泉 27番地

有限会社 あさかはや本店

TEL: 0247-26-2135

福島県石川郡石川町大字双里字双里136

有限会社 岡部商店 電話 (0247) 26-1163

ENEOS 双里・鹿ノ坂サービスステーション
mazda マツダオートザム石川

福島県石川郡石川町字南町 7 9番地

山桜有限会社 斎藤酒店

TEL: 0247-26-2046

福島県石川郡石川町字下泉 7 3 - 4

近内茶店

TEL: 0247-26-1632



メガネ・宝飾・時計・補聴器

(有)サカイ

福島県石川郡石川町字下泉165 電話 0247(26)2716



福島県石川郡石川町坂路字馬場宿 7 8

有限会社 鈴木畜産

☎0247-57-5643

陸奥国一之宮

石都々古和氣神社神徒会

社務所 ☎0247-26-7534

福島県石川郡石川町字下泉 1 6 9番地

医療法人社団 青柳歯科医院

理事長 鈴木秀太 電話 0247(26)2002

ふくしま・母畠温泉・やはたや



福島県石川郡石川町母畠温泉

TEL:0247-26-3131

[https://www.yahataya.co.jp/](http://www.yahataya.co.jp/)



別館

帰郷邸

KIKYOTEI

石川自由民権150周年事業広告協賛御社名



株式会社福産建設

代表取締役 吉田一治

本 社 / 石川郡石川町大字双里字桜町20 TEL(0247)26-3355(代)
平田営業所 / 石川郡平田村大字中倉字暮坪235 TEL(0247)54-2159

福島県石川郡石川町字大橋2-26

株式会社 和知鐵工所

代表取締役 和知勇希

有限会社 関根建材

福島県石川郡石川町大字沢井字十三塚35

電話:0247-26-7251

福島県石川郡石川町大字双里字神主5

有限会社 有松工務店

代表者 有松良治 電話 0247(26)1344

福島県石川郡石川町大字双里字谷津前28-2

吉田食品 代表者 吉田数重

電話:0247-26-1830

福島県石川郡石川町坂路野出ノ内15

有限会社 サンエイ・オプチカル福島事業所

TEL: 0247-26-0115

福島県石川郡石川町大字坂路字馬場宿91

有限会社 小針建設

代表取締役 小鉢重一 電話 0247(26)5583

福島県石川郡石川町字下泉56

有限会社 吉田設備工業

代表取締役 吉田直哉 電話 0247(26)1331

福島県石川郡石川町大字赤羽字董草23番地の7



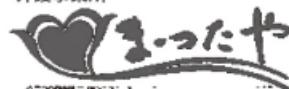
電話:0247-26-2065

福島県石川郡石川町字下泉171

医療法人 愛恵会 大野診療所

TEL: 0247-26-2615

介護事業所



お気軽にお問い合わせください

電話:0247-26-1885

福島県石川郡石川町字長久保92-1

東京いわき石川会

ふるさとの心豊かなふれあいをもとめて

会長 遠藤正男

副会長 大島春夫

事務局長 五十嵐三夫

会計理事 大森伸子

電話: 0247-26-9113

福島県石川郡石川町大字七鍬石102-1

株式会社 さがら

水晶館 石川斎場 玉川斎場

代表取締役社長 相楽勇治郎

TEL 0247-26-4141(代)

石川町合併70周年 共に創る幸せ実現の町



石川町

石川町

町長 首藤 剛太郎

石川町議会

議長 近内 雅洋



LINE
公式アカウント

石川自由民権150周年記念事業



《後援団体》

石川町 石川町教育委員会 石川町議会 三春町教育委員会 学校法人石川義塾 東京いわき石川会
石川町文化協会 いわき石川青年会議所 石川ロータリークラブ 石川ライオンズクラブ
福島県立石川高等学校同窓会 石陽史学会 福島自由民権大学 平田村史談会 歴史塾ふるどの
福島民報社 福島民友新聞社 町民ニュース社 夕刊いしかわ新聞社

令和7年11月30日
石川自由民権150周年記念事業実行委員会

石川自由民権150周年記念碑除幕式

民権家たちの志が育む石川の教育

※ 午後0時30分除幕式（鈴木重謙屋敷）

1 開会

2 清め祓い

石都々古和氣神社 彌宣吉田伊織

3 実行委員会代表あいさつ

4 除幕

*参列者

水野谷憲郎様、安在邦夫様、矢内正夫様
首藤剛太郎様、近内雅洋様、鈴木信夫様
加納 武夫様、山田真太郎様、小玉陽彦様
古藤 邦英様、郷 康隆様、吉田英高様
下山田和雄様

5 閉会

※ 式終了後、記念撮影



若者に中等教育を！民権家：吉田光一、松浦勇弥、鈴木重謙らが支えた石川義塾（現在学法石川高校、石川義塾中学校）



民権家：鈴木重謙が女子教育に尽力し、設立した旧実科女学校 現在は、福島県立石川高等学校

石川自由民権150周年記念式典

※ 午後1時30分 記念式典
(石川町共同福祉施設)

1 開会

2 感謝状贈呈

*受賞者

題字 挥毫／水野谷憲郎様
捺文／安在邦夫様
記念碑施工／矢内正夫様

3 実行委員会代表あいさつ

4 石川町長あいさつ

5 福島県議会議員あいさつ

6 実行委員会顧問及び後援団体の紹介

7 「石川民権まっぷ」作製の報告

*学法石川高校生有志代表／
塩田大翔さん、根本芽依さん

8 閉会



校歌に「自由の旗をなびかせた 父祖よ歴史よわが町よ」と自由民権のフレーズがある石川中学校



校歌に「ここから風を起こすんだ」と自由民権運動を想像させるフレーズがある石川小学校

石川自由民権150周年記念講演会

※ 講演会午後2時～3時00分 (石川町共同福祉施設)



河野廣中

1 開会

2 実行委員会代表あいさつ

3 講師紹介

* 講師 早稲田大学名誉教授 安在 邦夫 様

* 講師プロフィール

1939年 三重県生まれ、早稲田大学院史学（日本史）博士課程を終了

専攻日本近代史。早稲田大学学術院教授、石川町史編集纂副委員長、神奈川

大学特任教授。

主要編著「立憲改進党の活用と思想」「自由民権の再発見」「左部彦次郎の生涯」など

4 講演

◎演題「今こそ 自由民権」の碑が語りかけること

～自由民権150年・石川の誇りを未来につなぐ～

5 講演御礼のことば

6 閉会

撰文 安在邦夫

戊辰戦争の惨禍未だ消えぬ一八七五（明治八）年八月 石川地域に東北初の民権結社 有志会議が結成された 石川会所区長河野廣中の呼び掛けに賛同した吉田光一ら住民は 会議憲法を定め鈴木重謙屋敷などで活動した 同会議は前年板垣退助らが行い全国に波及した国会開設運動に呼応したもので やがて国民諸階層が参加する自由民権運動として発展した この間有志会議は一八七八年石陽社と改称し 福島自由党の要となり民権運動を牽引 県令三島通庸の民衆弾圧の県政に対し 県民の自由と権利擁護のために闘い その活動は西の立志社（高知）と並び称された 現在 言論無視と人権侵害の事態が世界各地で生じている 折しも本年は有志会議結成一五〇年に当たる 我が郷土の先人の偉業を省みて讃え 繙承を誓い 「今こそ 自由民権」の銘をここに刻む

《時代に見る自由民権のことば》

「広く会議を興し、万機公論に決すべし」

(明治元年(1868年)3月 明治天皇五箇条の御誓文から)

「両貴社は、東北より^{つと} 勉めよ 我社は則ち^{つと} 西南より力めん」

(明治12年(1879年)10月 三師社石陽社委員河野廣中へ土佐高知立志社からの返答書から)

「明治8年(1875) この地に近代日本の夜明けを告げる「石陽社」(有志会議)が誕生した」

(昭和43年(1969年)10月 明治100年記念石陽社記念碑文から)

「磐洲河野廣中翁は、西の板垣 東の河野といわれ 自由民権運動の先駆者として活躍した」

(昭和56年(1981年)12月盤洲河野廣中翁顕彰碑から)

「自由の声を 未来へつなぐ」～自由民権150周年 石川の誇りをかたちに～

(令和7年(2025年)8月 石川自由民権150周年祈念碑建立趣意書から)

☆御礼のことば☆

石川自由民権150周年記念事業を実施するにあたり、町当局をはじめ町民の方々から深いご理解と絶大なるご指導とご支援をいただき、無事、目的を達成することができました。本当にありがとうございました。

今から150年前、私達の祖先が東北最初の 民主主義の原点 とも言うべき 自由民権運動のため、200名を越える方々が活動したということは、町の誇りであります。世界的に見ても民主政治が後退し、弱体化が懸念されている今日、“今こそ自由民権”的尊さを再認識し、石川の誇りを未来に繋ぎ伝えることを期待しています。

皆様のご厚意によって建立された碑は、過去の民権家の偉業を讃えるだけでなく、これから社会をしっかりと見つめ、希望の道標の碑 であってほしいと願っています。この事業に関わって頂きました皆様に心から感謝を申し上げます。

石川自由民権150周年事業実行委員会・石陽社顕彰会 代表 古藤 邦英



河野廣中 河野廣輔 近内ハナ 関根常吉 鈴木重謙 吉田光一



「石陽社顕彰会」QRコード

石川町みんなのまちづくり事業//石陽社顕彰会
○問い合わせ先/石陽社顕彰会 事務局長 渡辺 実(0247-26-6994)

石川自由民権150周年記念事業実行委員会役員及び委員名簿

2025年8月30日

役職	氏名	住所
顧問	首藤剛太郎(石川町長)	石川町字松木下102
//	近内 雅洋(石川町議長)	大字中野字福貴田37
//	鈴木 信夫(元石川町長)	大字双里字七鍬石24-1
//	加納 武夫(元石川町長)	字轡取54-8
//	山田真太郎(福島県議会議員)	字王子平179-1
//	郷 泰隆(石陽社顕彰会顧問)	大字新屋敷字石舟3-2
代表委員	古藤 邦英	字長久保196-4
副代表委員	吉田 英高	字下泉150
//	下山田和雄	字長久保86-1
事務局長	渡辺 実	大字北山形字引地1
事務局次長	瀬谷 寿一	大字中田字内出54
会計	志賀 一隆	字屋敷入160-3
会計監査	中田 剛	大字母畠字小田口33-6
//	添田 健	大字北山形字大平85
委員	溝井 恵介	字下泉27
//	吉田 数重	大字双里字谷津前28-2
//	関根 武一	大字沢井字十三塚35
//	郷 徹	大字新屋敷字新覚14
//	曲山 重徳	大字塩沢字広畠42-7
//	関根 正人	大字母畠字竹ノ内16-1
//	角田 信	大字形見字尾巻121
//	大町ゑひ子	字古館383
//	渡辺 忠栄	大字母畠字樋ノ口75-1
//	小豆畠 毅	字下泉145
//	吉田 利昭	大字沢井字深谷147-2
//	野崎 良子	大字沢井字上ノ原9-10
//	角田 忍	大字形見字尾巻123
//	有賀 正泰	大字形見字尾巻124
//	星 恵子	字松木下19-2
//	深谷 伸夫	大字中田字上矢造18

中学生用「民権まっぷ」協力（学法石川高校生徒有志）名簿

2025.6.21

	班	氏名	学年	担当	備考
1	1	小豆畠 成	1	明治百年石碑	
2	1	荒川 空	1	明治百年石碑	
3	1	鈴木 恵衣	1	明治百年石碑	
4	1	曲山 麻紀	2	明治百年石碑	
5	1	角田 優香	2	明治百年石碑	
6	2	永沼 佳子	1	県議会百年石碑	
7	2	久保木里帆	1	県議会百年石碑	
8	2	近藤 里虹	1	県議会百年石碑	
9	2	川崎 愛海	1	県議会百年石碑	
10	3	塩田 大翔	2	民権150年石碑	記念式典
11	3	中川 晃	2	民権150年石碑	
12	3	根本 芽依	2	民権150年石碑	記念式典
13	3	佐藤 彩奈	2	民権150年石碑	
14	4	大河原優衣	2	イラストマップ	
15	4	近内 大地	2	イラストマップ	
16	学石高	高橋 由輝			
17	石陽社顕彰会	渡辺 実			
18	石陽社顕彰会	志賀 一隆			
19	石陽社顕彰会	瀬谷 寿一			

石川自由民権150周年記念碑 建立趣意書

「自由の声を、未来へつなぐ」

～自由民権150周年、石川の誇りをかたちに～

いま、なぜ「自由民権」か？

150年前、石川では、封建的な価値観がまだ色濃く残る時代に、新しい時代を切り開こうとする若者たちが立ち上りました。自由にものを言い、互いに意見を交わし、民主的に物事を決めること……それが「自由民権運動」でした。その精神は、現在の私たちの社会にも通じています。人権、自由、そして多様性を尊重しながら、誰もが安心して生きられる未来を築く。まさに今こそ、その原点に立ち返るべきではないでしょうか。

石川町が果たした歴史的な役割

1875年、石川では、東北初となる政治結社「有志会議」（後に石陽社）が誕生しました。若き弁士たちは演説会を開き、「民の声」を政治に届けるために奔走しました。中心となったのは、河野広中をはじめとする民権家たち。彼らは言論で政府と対峙し、ついには憲法制定と国会開設を実現に導いたのです。石川の自由民権運動は、東北全体の民主化を後押しし、日本の近代化にも大きな影響を与えました。また彼らは、地域の教育・産業・交通にも尽力し、現在の学法石川高校や県立石川高校の創立、水郡線の開通など、まちづくりの礎を築きました。

現代社会と自由民権のつながり

今、世界では民主主義の後退が懸念されています。戦争、独裁、分断……それらが進む中で、未来への不安を抱える若者たちが増えています。また、地球温暖化や環境破壊など、持続可能性への課題も深刻です。こうした時代だからこそ、私たちは再び「自由」と「対話」に目を向け、多様な価値観（ダイバーシティ）を認め合いながら、持続可能な社会を築く必要があります。

記念碑に込める願い

私たちは、石川の歴史に誇りを持ち、その精神を未来に伝えるため、「石川自由民権150周年記念碑」を建立します。この石碑は、過去を讃えるだけでなく、これからの社会を見つめる「希望のしるし」です。訪れた人が、QRコードからさらに詳しい歴史に触れ、自由と民主主義の大切さを感じていただけるよう工夫も施します。

今こそ 自由民権！

みなさんの参加が未来をつくる

この記念碑には、13年前、本会が主催した菅原文太氏による自由民権学習会での言葉「今こそ自由民権」を刻みます。町民一人ひとりが主人公の地域を創るために、世代を超えて学び、語り合い、未来への一歩をともに踏み出しましょう。



「石川自由民権物語」 イラスト竹内七生



石川自由民権150周年記念碑建立協賛金のお願い

令和7年8月吉日

石川自由民権150周年記念事業実行委員会

代表 古藤 邦英

今年は、明治8年、石川町に東北最初の民権結社有志会議（後に石陽社）が結成されて150年の節目の年になります。また、石陽社顕彰会が平成22年に発足し足かけ15年になります。この間のみなさまからのご支援ご協力に対し心から御礼申し上げます。

そこで、石川自由民権150周年記念事業実行委員会を組織し、三つの記念事業を行うこととしました。一つは、中央から講師を招聘し記念講演会の開催、二つ目は、これまでの中学生用自由民権学習用の小冊子をわかりやすいパンフレットに再編集すること、三つ目には、150周年を記念し未来に向け自由民権を顕彰する記念碑を建立することとしました。

特に、顕彰碑の建立につきましては、記念碑建立費を100万円、QRコードでの情報発信経費などの諸経費を含め、総事業費を130万円と積算しました。財源は石陽社顕彰会準備資金50万円を基本に協賛金で60万円、広告収入で20万円を見込みました。大変心苦しいのですが、本事業を実現するため多くの方々に呼びかけ、財源を確保し事業を取り組むことにしました。

石川町を自由民権運動発祥の地として、全国に発信するためにも広く賛同を呼びかけますのでご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

◆ 御協賛のお願い 1口 1,000円以上

◆ 御広告のお願い 1口 (2cm×9cm) 5,000円

※御協賛及び広告をいただいた方、企業・団体方へのご報告は、記念碑に埋め込むQRコードでスマホから確認できるようにします。

◆ 後援者（予定）

石川町、石川町教育委員会、石川町議会、三春町教育委員会、学校法人石川義塾、石川町文化協会、いわき石川青年会議所、石川ライオンズクラブ、石川ロータリークラブ、福島県立石川高等学校同窓会、石陽史学会、福島自由民権大学、福島民報社、福島民友新聞社、町民ニュース社、夕刊いしかわ社

